

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 RI会長
K. R. ラビンドラン 氏

例会予定 5月 4日 法定休会
5月11日 外部卓話

VOL. 53 No. 35(通算No. 2476)

2016年 4月27日(水) 例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸報告
幹事報告
会長挨拶
外部卓話 茨城県議会議員 飯田智男様



クラブ創立当初のバナーは、ロータリーのマークに「水」の字をあしらったものでしたが、創立10周年当時、バナーを変えたいという意見が出て、研究検討の結果出来たものが現在のものです。鬼怒川と小貝川にはさまれた水海道は、昔から水路を利用して、江戸に通じる要地として繁栄し、川との関わり合いの深い所です。鯰は「如拙」の「瓢箪鯰」にあるよう、また幸を招く魚として、川魚の代表的な魚です。この「鯰」と「川」が当地の特色をもっとも的確に表すだろうと云うことで、東京女子美術学校講師であった増淵淳子先生が両川の清流に黄金の鯰を配して図案化したものです。

2015-2016年度 会 長 海老原良夫 幹 事 松崎隆詞

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



4月は母子の健康月間

例会報告 VOL. 53 No34(No. 2475) 4月13日(水)曇り (司会 石井康弘委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎地区研修・協議会 各部門委員長

誕生祝

《ご夫人》秋田会員 大澤会員

諸報告

親睦活動委員会 石塚克己委員長

5月21日(土) お楽しみ会の詳細を、皆様にFAXさせていただきました。18日までにご返信の程宜しくお願ひ致します。

幹事報告 松崎隆詞幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

理事・役員会報告

1. 6月の休会について……6月15日(水)定款第6条第1節により
2. 親睦ゴルフ大会について……補助金10万円出す

……………承認されました……………

会長挨拶 海老原良夫会長 4月13日 華州(かしゅう)と嘉重(かじゅう)・生涯を育英事業に捧げた二人



渡辺華州(かしゅう)と渡辺嘉重(かじゅう)は別人であるが、二人とも花島村(現常総市花島町)生まれで生涯を育英事業に捧げた人物であった。

渡辺嘉重(かじゅう)について先週「日本保育教育の第一号」として紹介したが、彼は明治38年、土浦に私立学校を創設した。創立当初は学校経営に腐心したが、やがて教え子から有為な人材を輩出するようになる。昭和期土浦を代表する実業家中川延四郎(高額納税者であり経済界ばかりでなく、奨学資金を醸出

して教育界にも多大の貢献をしている)・木村実(元土浦商工会議所)らは門下生として恩師の志を承け私学の復活のため絶大の協力を惜しまなかった。嘉重が創設したその私学の名前は常総学院という。

さて本日は先週紹介した渡辺嘉重(かじゅう)の恩師、渡辺華州(かしゅう)を紹介しよう。

<華州は嘉永5年(1852)花島村に武兵衛の三男二女の第二子として生まれる。母は中島維昌(石下町曲田)の娘。明治6年(1873)、大輪小学校を振り出しに花島小学校へ、やがて貝谷、上蛇、水海道の各小学校を歴任して明治23年(1890)教職を辞してから後、家塾を開き、明治35年(1902)推されて日本弘道会の常任幹事となって上京するまでの十有余年が華州塾の第一期。第二期は、東都から帰郷して家塾を再開してから閉鎖に至るまでの約十年の期間である。郷土史家富村登は華州につき「明治大正時代に於ける北総の名家である。門弟千数百人まことに地方文化推進の恩人である。」という如く、当地に於ける華州の名は、衆目のみと



4月は母子の健康月間

ころ、やはり華州塾の主としての貫録と名声であることにちがいはない。※増田実著述『明治教育の先覚者 渡辺華州』より引用>

華州は教職、家塾の主としての他、茨城県会議員として旧制水海道中学校創立に奔走するなどしたが、華州の名声の一つにはやはり書家としての華州をあげねばなるまい。

華州の書では、特に楷書、行書に特色があり、気品あふれた書になっている。

今、この地に華州書の大きな板碑が散見される。安楽寺、報国寺、石下小学校、花島敬齋草間翁碑など華州の撰文並書によるものである。

私は印章彫刻技能者として生きてきた。幸いにも華州の書を蔵している。

地区研修・協議会報告

会 長 部 門

齋藤広巳会長エレクト



4月9日(土)古河中央運動公園総合体育館において、古河中央ロータリークラブをホストとして2016-17年度地区研修・協議会が行われ参加してまいりました。

9時半受付登録10時より開会本会議、古河東クラブの石川会員による司会、白戸ガバナーエレクトの点鐘でスタートしました。

いつものように、開会の辞 ソング斉唱 歓迎の言葉 ガバナー挨拶 ノミニー紹介 挨拶 地区役員紹介があり10時40分より白戸エレクトからRIテーマと次年度地区方針の発表、藤居研修リーダーからDLPとCLPの相乗効果を目指して、長谷川危機管理委員会委員長から危機管理について話がありました。

RIテーマと次年度地区方針の発表については先週のPETS報告と同じでした、DLPとCLPの相乗効果を目指してでは地区とクラブが協力してロータリーの活性化をはかることが目的であるということでした。

午後は予定より20分ほど早めにはじまり10のグループに分かれ分科会でした。

第1会長・ガバナー補佐グループはカウンセラー北村パストガバナー、リーダー白戸ガバナーエレクト、サブリーダー保延ガバナーノミニー、福田会計長、山本地区幹事、

福田会計長より次年度予算説明 承認、山本地区幹事よりRI会長賞の取り方細かい説明、北村パストガバナーよりロータリーも近年大きく変化していますがロータリーの奉仕の思想を理解しクラブに参加する人を育ててほしいとの話がありました。

3時に全体会議場にもどり白戸エレクトより再度RI会長賞への具体的取組の説明があり終了となりました。

会 員 増 強 部 門

石塚克己次年度会員組織委員長



全体会を終え、午後は大塚さんとともに第3グループ「会員増強」第4グループ「広報・雑誌・情報」分科会に参加しました。

5つの部門別委員長より約10分程度の発表がありましたが、結論としてロータリークラブが直面している課題の一つ、「会員増強と退会防止」を効率的かつ積極的なクラブ管理運営により如何に推し進めていくかでした。

周知のことですが、2820 地区内クラブ及び分区の会員増減の数字です。

10年間の分区データでは8分区中、増加しているのは水戸地区の第3分区のみ。

クラブのデータでは消滅したクラブを含め、会員が増加しているクラブは6クラブだけ。

第7分区では8クラブ中、1クラブだけ。この1クラブは水海道クラブです。

10年間で2桁(10人以上、20人以上)の会員が減少したクラブが20クラブという状況です。ちなみに最大は下館クラブの22名。

最後に「地域の発展、衰退、振興状況と会員数の増減は関係ない。減少しているとすればそのクラブに何らかの原因があるのではないか」という講評が心に残りました。

4月は母子の健康月間

広報・雑誌部門



大塚令昌次年度クラブ管理運営委員長

2016ー2017年度のクラブ管理運営委員会を担当となり出席しましたのでご報告申し上げます。4月9日の古河中央運動公園での地区研修・協議会では第4グループのクラブ管理運営委員会に出席してまいりました。

本年度のクラブ管理運営委員会のスローガンは、クラブを成功に導くリーダーシップをもつとくに会員同志のコミュニケーションを促すが上げられました。役割としてはクラブの効率的な運営を初め地域社会に奉仕を提供し、会員を維持し、クラブ

や地域、ひいては国際ロータリーのリーダーとなる会員を育成すると提唱されました。よって当クラブでの私の役目は、7委員会の委員長初め委員との連携を大切に努めて参りますので宜しくご協力の程お願い申し上げます。

職業奉仕部門



古矢 満次年度職業奉仕委員長

地区研修・協議会本会議の後の分科会での職業奉仕委員会についてご報告申し上げます。

当委員会は総合体育館前の温水プール2階の会議室で開かれました。蓮見公男サブリーダーの開会宣言と出席確認の後、木村薫リーダーより役員及び委員の紹介がありました。

それから、廣瀬昭雄カウンセラーより、「職業奉仕の原点について」お話がありました。

現在は、財団と会員増強が主になってしまっているが、基本は四つのテストにある。職業に対する自分の姿勢であり、ロータリー活動そのものが職業奉仕でもある。という奥の深いお話でした。

続いて木村リーダーより「職業奉仕について」のお話は、自分の日々の仕事をきちっとこなし、職業上の行為が自分の職業に関係する全ての人々の幸せにつながっているかどうかということを自身に問いかける。といった内容でした。

その後、瀬谷光明委員より、各クラブより集計した職業奉仕活動内容と地区委員会に対する要望の紹介と説明がありました。

5分間休憩の後、分区ごとに分かれて職業奉仕の活動についてのディスカッションと主な活動の報告を行い閉会となりました。

なお、第7分区は水海道、竜ヶ崎、取手の3クラブのみの参加でとてもさびしい感じがしました。職業奉仕について改めて考えるいい研修会だったと思いますが、一番印象に残ったのは、廣瀬昭雄カウンセラーの「いくら理屈を言っても、楽しくなければ誰も来なくなっちゃうんだよ」とのお言葉でした。以上ご報告申し上げます。

社会奉仕部門



秋田政夫次年度社会奉仕委員長

第1セッション

(1) 社会奉仕の概念についての講和(萩原充雄PG)山崎PGの代行
社会奉仕の原点はロータリーの設立の原点にある。特に地域社会への奉仕活動が原点であり、体と時間を使つての奉仕が求められる。

また、奉仕活動とは、元来陰徳のものであり、世にアピールするものではないが、今日、ロータリーにおいて公共のイメージアップ、公共での認知度も求められている。(茨城新聞掲載によりロータリー情報館等)

(2) 社会奉仕の役割と責務についての講和(北茨城RC 村山潤一総括委員長)

ロータリーの公共イメージアップを図っていただきたい。ロータリークラブには大小のクラブがあるが、地域社会への奉仕活動はクラブの大小ではない。

次年度は、ぜひクラブ奉仕活動、プロジェクトについて地区の社会奉仕委員会へも参加を呼びかけてほ

4月は母子の健康月間

しい。また、2820地区、56クラブすべてのクラブが財団地区補助金を活用していただきたい。

第2セッション(各分区ごとのグループ研修)

第7分区クラブ出席者(竜ヶ崎、取手、龍ヶ崎中央、水海道)

討議テーマ

- (1) 次年度の事業計画、今年度の事業発表について
- (2) ロータリー家族について(家族あるいは地域の各個人、団体にロータリーをどのように理解、認知、協力を求められるか?)

青少年奉仕部門

登坂 寛次年度青少年奉仕委員長



1. インターアクト委員会

インターアクトの概要についての説明

地区内のインターアクトクラブの現況、活動内容についての報告

2. 青少年奉仕委員会

2015-2016年度第36回ライラセミナーについての報告

2016-2017年度ライラセミナーの開催日時、場所についての報告

10月15-16日 さしま少年自然の家において開催予定

3. ロータリアクト委員会

ロータリアクトクラブの現況について説明、地区内の結成状況についての報告

2018年3月に全国ロータリアクト研修会が水戸で開催されるので、会員の増強が必要。

第2、第7、第8分区は提唱クラブがない。共同提唱でもよいのでぜひ設立してほしい。

4. 青少年交換委員会

青少年交換プログラムの報告と概要の説明

当地区内の受け入れ、送り出しの現況

次年度募集要項の説明

短期交換留学の説明

最後にカウンセラーの清水清パストガバナーよりロータリーの歴史に見る青少年奉仕についての講演があった。

国際奉仕部門

荒井孝典次年度国際奉仕委員長



先日の4月9日に行き参りました地区研修会で、国際奉仕委員会の分科会に参加して参りましたのでご報告申し上げます。初めての参加でしたが、当クラブの瀬戸会員が国際奉仕委員会の総括委員長ということもあり、少し安心して参加できました。

まずは、瀬戸総括委員長から、国際奉仕委員会の活動内容について説明いただきました。国際奉仕委員会は、世界社会奉仕委員会と国際交流共同委員会の2つの委員会を柱に各クラブの国際奉仕活動を支援しているとのことです。

世界社会奉仕委員会は、発展途上国など資金の制約で奉仕活動を実践できない場合に、援助などを求めていく活動を行っているとのことです。国際奉仕における支援事業としては、①クラブによる支援事業、②クラブ資金及びこの指とまれプロジェクトによる資金を活用した支援事業、③地区資金(特にグローバル補助金)を活用した事業などがあるとのことです。この指とまれプロジェクトでは、各クラブ同士で資金を出し合うことで、事業を行うのが得意なクラブ、不得意なクラブが共同で支援事業をできるメリットがあり、総額170万~200万の資金が提供されるとのことです。当クラブでは、友部ロータリークラブが提唱したタイのマングロー

4月は母子の健康月間

ブ植林プロジェクトに賛助しているとのことです。なお、グローバル補助金は要件や制約があるとのことです。いずれにしても、支援事業した場合は、支援金が現地できちんと使われているかの確認をしたほうが良いとのことでした。

次に、世界社会奉仕委員会の委員長さんが欠席とのことで、引き続き瀬戸総括委員長から世界社会奉仕委員会の活動内容についてご説明いただきました。続いて、国際交流共同委員会の鶴田委員長より、国際交流共同委員会の活動内容についてご説明いただきました。

日本・タイ担当の石川委員からも、タイのロータリークラブとの国際交流の成果をスライドを見せてご説明いただきました。日本・フィリピン担当の池田委員からも、フィリピンのマニラのロータリークラブとの国際交流の成果を発表していただきました。ラモス元大統領も来られたとのことで、スライドを見せてご説明いただきました。最後に国際交流奨学金担当の柴山委員から、留学生への奨学金についてご説明いただきました。イギリス等への留学になると費用が高額になり、奨学金ではカバーできないとのことで、タイやフィリピンを進めているとのことです。タイやフィリピンでは、英語が母国語と同じように学ばれており、想像以上に英語の能力が進んでいる旨のご説明がありました。

感想としましては、地区研修会に参加したことで、国際奉仕委員会の活動内容の概要をお聞きできたので、次年度の当クラブでの国際奉仕委員会の活動に少しでも生かさればと考えております。なお、次年度も当クラブからツウンバへの留学生の派遣を予定しております。会員のお子様、お孫様、ご友人のお子様、お孫様等でご興味ある方がいらっしゃいましたらぜひ早めに私までご連絡ください。ご協力よろしく願いいたします。

米山記念奨学会部門

染谷秀雄次年度米山記念奨学会委員長



4月9日、古河市中央総合体育館において地区協議会、分科会に参加してきました。米山奨学会の分科会ではカウンセラーの倉沢ガバナーの挨拶で始まり、菊池総括委員長、菊地米山委員長から米山奨学会の現状、寄付の状況などの説明がありました。

米山奨学会に対しての寄付金の合計額は14億1474万円あり、また、利子収入は7千9百47万円あり、利子収入は米山奨学事業の管理費に運用されているとのことです。

その中で2820地区は全国の地区と比較しても寄付額が大変多く全国で第4位の位置にあるとのことです。また地区内においても水海道クラブは、累計46,145,400円ということで、地区内では8番目に寄付額が多いクラブとなっておりますが、上位クラブは会員数も多く、また歴史も古いということで累計額が多くなっていると考えられます。

特別寄付は任意ということもあり、特別寄付額が0円のクラブが数クラブあるとのことです。

次年度は引き続き普通寄付5,000円、特別寄付20,000円以上をお願いしたいとのことで、水海道クラブも今まで同様に会員の皆様をお願いをしようと考えています。

全国での国籍のバランスについては、中国籍の米山奨学生が2012年度では50%、その後は減少して43%、40%、39%と年々減ってはいますが、2820地区においては2013年度で46%、長谷川年度、藤居年度ともに32-33%前後で推移していましたが、2016年度では48%と大幅に増えているのが現状です。

4月は母子の健康月間



出席報告 荒井孝典委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
55名	36名	19名	0名	6名	76.36%

ニコニコボックス 染谷秀雄委員長

入金計 21,000円 累計 1,577,000円

誕生祝御礼《ご夫人》秋田・大澤 各会員

齋藤年度の地区研修・協議会発表者の皆様、本日はよろしくお祈いします。 海老原会員

地区研修・協議会参加して来ました。桜満開でした。 齋藤会員

桜満開の地区協議会で、ひとときのお花見でした。 石塚(克)会員

各次年度委員長様、地区協大変お疲れ様でした。本日報告よろしくお祈い致します。 石井会員

地区協議会参加して来ました。 染谷(秀)会員

欠席が続きました。 古矢会員

例会欠席しました。 亀崎会員

会報委員会 二本松恭行委員長 亀崎徳彦副委員長 本橋美章委員

地区大会写真集

平成28年4月17日(日) 於:ノバホール



クラブ紹介



RI会長代理入場



講演会



懇親会



料理

会員の皆様、お疲れ様でした。